

バックグラウンドでの自動アップデートについて

ウィンドウズアップデートに関連する実行手順を作成しました。(第 3 回 Z P S C 役員会議事録・確認事項③参照)

目次

○実行手順の内容：,

○備考 A アップデートについてのこれまでの経過説明：

○備考 B 添付参考資料

※4. 参考資料。

※5 省略：(ZPSC-HP記載のWin7統一基準)

※6 省略：

※7 更新プログラムが正しくインストールされたか確認する方法

○ 実行手順の内容：

第3回ZPSC役員会議事録・確認事項③「講座用PCのアップデートの取り扱いについて」に以下の（１～４．）の実行手順を追加補充しました。

1. バックグラウンド作動でアップデート・プログラムをダウンロード

実行手順：アップデートを自動更新に設定

- ・コントロールパネル→Windows Update→設定の変更
- ・「重要な更新プログラム（I）→
「更新プログラムを自動的にインストールする（推奨）」を選択
- ・「OK」

2. 自動ダウンロードのみでインストールさせないでシャットダウンする手順

- ・スタートをクリック→「シャットダウン」ボタンに「楕」のマークがついているのを確認したら、スタートメニューを解消する（楕のマークはアップデートプログラムが

ダウンロードされていることを示し、通常のシャットダウン手順でインストールが始まる)・・・この2項再度検証中！

- ・起動中のアプリをすべて終了
- ・「ALT」＋「F 4」→選択ウインドウ表示
- ・「Windows のシャットダウン選択」ウインドウの「▼」をクリック
- ・「シャットダウン」を選択し「OK」をクリック

3. 自動でダウンロードした更新プログラムをインストールさせる手順

- ・通常のシャットダウン操作を行う。(次回起動時に再起動操作を行う) ※3

4. IEをVer. 10に固定する手順 (IE10以降)

- ・IEを起動し「ヘルプ」→「バージョン情報」
- ・「バージョン情報」画面
 - 新しいバージョンを自動的にインストールする
 - の「チェック」を外す。 ※4

以上 (2014-6-27) の講座に於いて操作確認チェック。

(文責：T.T)

※3. 自動 Up-Date は、PC 終了時又は再起動時にインストールされるが、それを時間の取れる再起動時にする方式に変更する。

{メンテ時間の取れる日にインストールする為に、終了時には(無メンテ) シャットダウン操作とする。これによりインストール最中の不用意なシャットダウンの防止を図る。}

○備考 A アップデートについてのこれまでの経過説明：

これまでは講座日とは別の日に Up-Date を行うことが多かったが、1～3 カ月 Up-Date 期間を空けると多量のデータ蓄積のため処理困難になってしまうトラブルが生じた※2（館のインターネット・スピード事情にも関係する）。

この改善を図りかつ作業時間の削減のために、バックグラウンド方式で Up -Date する新方式を役員会で決めた。

ダウンロードは自動とし、Web 利用の多い（例：講座第3日目又は4日目に於いては）講座中の自動稼働を OFF にすることもできる設定とする。

基本は自動だが、Web 環境に応じて自動から手動に変更することも可能。

自動ダウンロードを行い、インストールについては改めて、時間のあるときに再起動を掛け行う。

これに伴い Win 7 統一基本設定を修正する。

※2： 2014-3 月のデジカメ講座後の Up-Date 作業中。

<<今後の予定>>など

6 月 C-グループの word 講座で自動検証した。

7 月 A-グループのエクセル講座で再検証した。

9 月 A-グループの PC 基礎講座で検証予定。

「無効化ツール」は不要、IE11の自動アップグレードを簡単にブ... <http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20140203>

ニュース

日経コンピュータ

「無効化ツール」は不要、IE11の自動アップグレードを簡単にブロックする方法

2014/02/03

(勝村 幸博=日経コンピュータ)

日本マイクロソフトは2014年1月中旬より、Windows 7向けにInternet Explorer 11 (IE11) の自動アップグレードを開始した(関連記事: [日本マイクロソフト、Windows 7向けIE11の自動アップグレードを1月に開始](#))。だが、アップグレードしたくないユーザーもいるだろう。そこで、自動アップグレードを簡単に無効化する方法を紹介する。

IE11では、IE10までと比べて、機能やパフォーマンス、セキュリティなどが向上している。特に理由がなければ、Windows 7ユーザーもIE11にアップグレードした方がよい。

しかしながら、IE11に対応していないWebサイト(Webアプリケーション)は少なくない。このため、1月中旬以降、特定のWebサイトが急に利用できなくなったら、IE11への自動アップグレードが原因である可能性がある。IEのバージョンは、IEの「ツール」ボタン(歯車マーク)で表示される「バージョン情報」をクリックすると表示される(図1)。

知らないうちにアップグレードされたユーザーのために、まずはIE11からIE10にダウングレードする方法を紹介しよう。IE11は「更新プログラム」としてインストールされているので、「インストールされた更新プログラムを表示」の画面にアクセスして、「Internet Explorer 11」をアンインストールすればよい(図2)。



図1 ●知らないうちにIE11になっている可能性も。「バージョン情報」をクリックして確認を

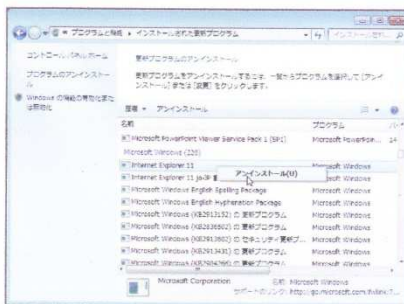
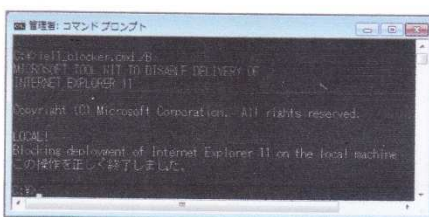


図2 ●「インストールされた更新プログラムを表示」

[画像のクリックで拡大表示]

「Internet Explorer 11 自動配布の無効化ツールキット」を提供している。このツールを利用すれば、IE11の自動アップグレードをブロックできる。



[画像のクリックで拡大表示]

それほど面倒な作業ではないが、IE10のユーザーなら、もっと簡単に自動アップグレードを無効にできる。IEの「ツール」ボタン（歯車マーク）で表示される「バージョン情報」に表示される「新しいバージョンを自動的にインストールする」のチェックを外すだけでよい（図4）。



この作業はユーザー権限が必要のため、チェックを外すと、UAC（ユーザーアカウント制御）のダイアログが表示され、確認が求められる。

「無効化ツール」は不要、IE11の自動アップグレードを簡単にブ... <http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20140205>

ただし、「新しいバージョンを自動的にインストールする」のチェックが表示されるのはIE10のみ。それより古いバージョンでは無効化ツールキットを利用するか、IE10にアップグレードしてから、チェックボックスを外す。なお、IE10をインストールできるのは、Windows 7/Windows Server 2008 R2以上。

※6 参考資料 省略：

※7 更新プログラムが正しくインストールされたか確認する方法

http://www.microsoft.com/ja-jp/security/pc-security/inst_history.aspx